

●救い主に関する預言/約束

「インマヌエル」(イザヤ 7:14) 「処女」(イザヤ 7:14) 「暗闇の中で輝く光」(イザヤ 9:2)

「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」(イザヤ 9:6) 「正義に満ちた王国」(イザヤ 11:4-5)

(*「この出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。」e.g. マタイ 1:22; 13:35)

※ヨハネ 1:11

「この方は自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。」

○『苦難のしもべ』：約束の救い主に関する三つの姿

1. _____ 救い主(1-3)

►「主の御腕」

※イザヤ 51:9a-10

「さめよ。さめよ。力をまとえ。主の御腕よ。…海と大いなる淵の水を干上がらせ、海の底に道を設けて、贖われた人々を通らせたのは、あなたではないか。」

※ヨハネ 12:37-38

「イエスが彼らの目の前でこのように多くのしるしを行わされたのに、彼らはイエスを信じなかった。それは、「主よ。だれが私たちの知らせを信じましたか。また主の御腕はだれに現されましたか」と言った預言者イザヤのことばが成就するためであった。」

●人々が救い主を拒んだ理由：

1) 期待外れの_____

2) 期待外れの_____

2. _____ 救い主(4-5)

(*マタイ 27:39-42 「道を行く人々は、頭を振りながらイエスをののしって、言った。「神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。もし、神の子なら、自分を救ってみろ。十字架から降りて來い。」同じように、祭司長たちも律法学者、長老たちといっしょになって、イエスをあざけって言った。「彼は他人を救ったが、自分は救えない。」)

※1 ヨハネ 3:5

「…キリストには何の罪もありません。」

※1 ペテロ 3:18

「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなつたのです。…」

※2 コリント 5:21

「神は、罪を知らない方(イエス様)を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義となるためです。」

※ローマ 5:8

「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」

「イエスはなぜ鞭打たれたのでしょう。それはその傷によって、私たちが癒されるためでした。イエスは罪なき方でありながら、なぜ有罪と宣告されたのでしょうか。それは罪ある私たちが無罪と認められるためでした。イエスはなぜ茨の冠をかぶせられたのでしょうか。それは私たちが栄光の冠をいただくためでした。イエスはなぜ嘲られ、ののしられたのでしょうか。それは私たちが尊ばれ、祝福されるためでした。イエスはなぜ悪人と見なされ、罪人の一人に数えられたのでしょうか。それは私たちが無実だと見なされ、全ての罪から義とされるためでした。イエスはなぜ自分さえ救えない」と言われたのでしょうか。それは他の人々を完全に救うことがおきになるためでした。イエスはなぜ最後に死なれたのでしょうか。それも最も苦しく、恥ずべき死で。それは私たちが永遠に生き、最高の栄光に預かるためだったのです。」(JC ライル)

3. _____ 救い主(6)

※1 ペテロ 2:22-25

「キリストは罪を犯したことなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。」